

平成29年5月29日(月)

総合教育会議資料

平成29年度新規・主要事業(抜粋)

- 子育て支援に関する主な事業
(企画部・保健福祉部・建設部・教育部) 1ページ
- スポーツに関する主な事業
(企画部) 4ページ

- 渋川すこやかプラザ管理事業 (保健福祉部) 5ページ
- 学校給食費の完全無料化 (教育部) 6ページ
- 子どもの学習支援事業 (保健福祉部) 7ページ
- 学校給食調理場再編整備事業 (教育部) 8ページ
- 総合型スポーツクラブ支援事業 (企画部) 9ページ
- (仮称)渋川伊香保温泉トレイルラン大会実施事業 (企画部) 10ページ

○ 子育て支援に関する主な事業

拠点づくり

- ・ 渋川すこやかプラザ管理事業（1億237万円）《新規》〔P.5〕
平成29年4月1日に、渋川すこやかプラザが、子育て支援を主体とする多世代交流施設として開設され、そのプラザ内で、子育て支援総合センター（子育て支援センター、屋内遊具施設、ファミリー・サポート・センター、多目的ホール等）を運営し、本市の子育て支援の拠点とします。 【保健福祉部こども課】
- ・ 子育て親子応援事業（325万円）《拡充》
子育て中の女性の就労を支援するため、子育て情報の提供、各種支援サービスの案内を効率よく行うとともに、ハローワークと連携し求人情報を提供します。
また、新たに内職相談を受け付けます。 【保健福祉部こども課】
- ・ 子育て環境づくり推進事業（604万円）
女性の活躍支援セミナーや企業向けのワークライフバランスセミナーを開催する等、子育て世帯の子育てと仕事の両立を支援します。【保健福祉部こども課】
- ・ 親子安心おでかけ応援（94万円）
子育て中の親子が、安心して外出を楽しめるよう、授乳やおむつ替えなどの設備の整備を支援し、「赤ちゃんの駅」として登録して、おでかけマップや市ホームページ等で情報を提供します。 【保健福祉部こども課】

妊娠・出産支援

- ・ 不妊治療費助成事業（823万円）
- ・ 不育症治療費助成事業（90万円）
高額な不妊症や不育症の治療を受ける夫婦に対して、助成金を交付し、経済的負担を軽減することで、治療を受けやすい、続けやすい環境づくりにつなげ、子どもを望む夫婦を支援します。 【保健福祉部健康管理課】

- ・ 妊産婦健康管理事業（4,594万円）

妊娠中の異常の早期発見、早期治療のため、医療機関での健診を受ける費用を助成します。また、妊娠、産褥期を健やかに過ごせるよう、育児不安を軽減し、順調な発育を促すための訪問指導や、生活保護受給世帯・市民税非課税世帯の妊産婦・乳児に対して、牛乳・粉ミルクの栄養食品を支給します。

【保健福祉部健康管理課】

発達障害児支援

- ・ 子ども子育て推進事業（230万円）《拡充》

発達に特性のある幼児を早期発見し、学校での学習環境に適應できるよう支援を行うため、保育士や幼稚園教諭を対象に研修を実施します。

【保健福祉部こども課】

- ・ すこやか子育て発達支援事業（176万円）《拡充》

就園から就学に至る期間において、発達に心配のある幼児を持つ養育者が気軽に相談できる場と教室を実施し、切れ目のない支援を行います。

また、新たに、教室に来所している幼児の幼稚園や保育園に、心理相談員と保健師が、幼稚園・保育園に出向き、幼児の行動観察を行い、保育士や幼稚園教諭に助言・指導します。

【保健福祉部健康管理課】

- ・ 妊産婦・乳幼児指導事業（178万円）《拡充》

親の育児不安を解消するため、引き続き、両親学級や子育てほっと講座等を開催します。また、臨床心理士による育児に関する基本的な知識の指導を行い、子育てを支援します。

【保健福祉部健康管理課】

経済的支援

- ・ 学校給食費の完全無料化（3億316万円）《拡充》[P.6]

市内小中学校の児童生徒5,599人に対し、学校給食費を完全無料化し、子育て世代の経済的な負担を軽減します。

【教育部学校給食課】

- ・ 母子家庭等対策総合支援事業（1,506万円）

ひとり親家庭の経済的自立のため、資格を取得する期間の生活費などを支給します。

【保健福祉部こども課】

- ・ 保育料第3子無料（6,122万円）及び第2子6割軽減（3,761万円）
第3子以降の保育料を無料に、また、第2子保育所保育料を6割減免して、子育て世帯の負担を軽減します。 【保健福祉部こども課】
- ・ 渋川スカイランドパーク遊園地無料優待券発行（1,173万円）
市内の中学生以下の子どもたちに、渋川スカイランドパーク遊園地の無料優待券（ワンデイパス）を配付して、子育て支援の拡充を図ります。 【保健福祉部こども課・建設部都市計画課】

学力・体力向上支援

- ・ 子どもの学習支援事業（153万円）《新規》〔P.7〕
生活保護世帯及び児童扶養手当受給世帯の中学生を対象に、学習支援員（教職員退職者）による家庭訪問を実施して、学習の習慣化と定着化を図るとともに、当該世帯の生活支援を行います。 【保健福祉部社会福祉課】
- ・ きめ細かな指導充実事業（1,372万円）
学校の再編統合に伴う児童生徒の心のケアや、取り巻く環境に影響を受けている児童生徒の学力向上の推進等、きめ細かな指導を継続するため、非常勤講師を配置します。 【教育部学校教育課】
- ・ スポーツ指導者派遣事業（412万円）
中学校の運動部活動に、専門知識を有する指導者を派遣して、教職員の負担軽減と子どものスポーツ障害の予防につなげます。
また、トップアスリートによる講習会を開催し、子どもたちに夢を与え、競技力の向上を図り、ジュニア選手を育成します。 【企画部スポーツ課】
- ・ 小学校体育授業スポーツコーディネーター派遣事業（750万円）
スポーツ活動の推進と小学校での体育活動の支援体制を充実するため、各小学校にスポーツコーディネーターを派遣して、運動に興味を持つ機会を提供することにより、体力の向上を図ります。 【教育部学校教育課】

学校教育施設の充実

- ・ 学校給食調理場再編整備事業（4,527万円）《新規》〔P.8〕

より安全でおいしい給食を提供するため、老朽化した赤城学校給食協働調理場及び北橋地区の自校式調理場を再編統合し、（仮称）東部学校給食共同調理場整備します。
【教育部学校給食課】

担当課	企画部 スポーツ課（内線2417）
	保健福祉部 社会福祉課（内線1226）
	保健福祉部 こども課（内線1219）
	保健福祉部 健康管理課（内線4621）
	建設部 都市計画課（内線4798）
	教育部 学校教育課（内線4905）
	教育部 学校給食課（内線4942）

○ スポーツに関する主な事業

スポーツ・レクリエーションの振興

- ・ 総合型スポーツクラブ支援事業（581万円）《新規》〔P.9〕

すべての世代の市民にスポーツ活動を奨励することを目的として、市民が主体となって運営するしぶかわスポーツクラブの設立を支援します。多種多様なスポーツ教室等を開催し、スポーツを活用した市民の健康づくりと地域の活性化に取り組めます。
【企画部スポーツ課】

- ・ （仮称）渋川伊香保温泉トレイルラン大会実施事業（556万円）《新規》〔P.10〕

総合公園を拠点に、伊香保温泉石段街の一部や県立伊香保森林公園等の観光名所を走るトレイルラン大会を実施して、地域の活性化や本市の魅力発信を図ります。
【企画部スポーツ課】

担当課	企画部 スポーツ課（内線2417）
-----	-------------------

■ 渋川すこやかプラザ管理事業

予算額 1億237万円

1 目的

- ・ 渋川総合病院跡地を活用し、多世代で利用できる複合施設を設置することで、交流人口の拡大、まちの活力や駅前商店街の活性化による地域振興を図り、人口減少対策を推進します。
- ・ 子育て中の親子に、気軽に集える、交流や情報交換の場を提供するとともに、妊娠や出産、子育て支援の利用情報や相談体制を充実します。
- ・ 就労情報の提供や内職相談の受付を行い、子育て世代の就労を支援します。

2 事業概要（現状の問題点や事業の全体像）

- ・ 平成28年3月に閉院した渋川総合病院の跡地を整備し、平成29年4月から官民協働による複合施設を開設します。
施設の愛称は、公募により「渋川すこやかプラザ」としました。
市は、施設の管理及び子育て支援総合センターの事業（子育て支援センター、屋内遊具施設、ファミリー・サポート・センター、多目的ホール等）を実施します。
- ・ 渋川すこやかプラザ内に開校される福祉専門学校との連携を視野に入れた事業展開を図ります。

3 平成29年度で実施する内容

- ・ 子育て支援センター、子育て総合窓口の開設
- ・ 屋内遊具施設の運営
- ・ ファミリー・サポート・センターの運営（業務委託事業）
- ・ 多目的ホールでのイベントの開催
- ・ 就労情報の提供
- ・ 福祉専門学校との事業連携

担当課	保健福祉部こども課 (内線1219)
-----	-----------------------

■ 学校給食費の完全無料化

予算額 3億316万円

1 目的

- ・ 子育て支援の一層の充実を図るため、児童生徒の学校給食費をすべて無料化し、子育て世代の経済的負担を軽減することにより、本市の人口減少対策を推進します。

2 事業概要（現状の問題点や事業の全体像）

- ・ 子育て世代の経済的な負担をさらに軽減するため、小中学校の児童生徒の学校給食費を完全無料化します。
 - 学校給食費
 - 小学生1人当たり年額 51,400円（伊香保地区は、52,600円）
 - 中学生1人当たり年額 59,000円（伊香保地区は、60,000円）
 - 小中学生の人数（平成29年度見込み）
 - 小学生 3,599人
 - 中学生 2,000人
 - 無料化に要する費用
30,316万円なお、平成28年度は、給食費の約30%を公費負担とし、更に、第3子以降の児童生徒は無料としていました。（平成28年度予算1億904万円）

3 平成29年度で実施する内容

- ・ 小中学校の児童生徒5,599人分の学校給食費の全額3億316万円を市が負担します。

担当課	教育部学校給食課 (内線) 4942
-----	-----------------------

■ 子どもの学習支援事業

予算額 153万円

1 目的

- 生活困窮者自立支援制度の任意事業である「子どもの学習支援事業」を実施し、経済的に厳しい状況にある生活保護世帯及び児童扶養手当受給世帯の中学生（希望者）に対し学習支援を行い、学習の習慣化及び定着化を図ることを目的とし、併せて生活支援を実施するものです。

2 事業概要（現状の問題点や事業の全体像）

- 家庭訪問型による学習指導
学習支援員（教職員退職者等）が、学習支援を希望する生徒の家庭を訪問し、当該生徒の習熟状況に応じて、個別に学習指導を行います。
指導をするにあたっては、学校の教科書やプリント等を使用し、基礎学力の定着、学習の習慣化を図ります。
- 生活支援
上記の学習指導とあわせて、保護者の相談対応も実施し、子どもや世帯に支援が必要な場合は、適切な対応を行う事業につながります。

3 平成29年度で実施する内容

- 学習支援員の雇用（2人）
- 家庭訪問の実施（学習支援を希望している生徒18人）
訪問回数は生徒1人につき2週間に1回
指導時間は1回につき1時間程度

担当課	保健福祉部社会福祉課 (内線1226)
-----	------------------------

■ 学校給食調理場再編整備事業

予算額 4,527万円

1 目的

赤城学校給食共同調理場及び北橋地区の3校の自校式調理場は、施設設備の老朽化が進んでいるため、新たに、(仮称)東部学校給食共同調理場を建設し、平成32年度から赤城地区4校と北橋地区3校に配食をするものです。

2 事業概要(現状の問題点や事業の全体像)

- 市では、安全で安心な給食の提供、食育の推進、地産地消の拡大などを目指し、老朽化した学校給食共同調理場等の再編整備を進めています。

これまでに、南部学校給食共同調理場及び北部学校給食共同調理場を建設し、平成26年8月から稼働しています。

- (仮称)東部学校給食共同調理場の建設

(1) 設置場所 赤城町上三原田地内(国保赤城南診療所跡地)

(2) 敷地面積 5,252.32㎡

(3) 調理能力 1,500食規模

(4) 受配校 赤城地区：三原田小学校・津久田小学校・赤城南中学校・赤城北中学校

北橋地区：橋小学校・橋北小学校・北橋中学校

(5) 整備スケジュール

平成29年度：実施設計

平成30年度：埋蔵文化財調査等

平成31～32年度：建設工事

平成32年度2学期から新調理場からの配食開始予定

3 平成29年度で実施する内容

- (仮称)東部学校給食共同調理場建設に係る実施設計を行います。

担当課	教育部学校給食課 (内線) 4942
-----	-----------------------

■ 総合型スポーツクラブ支援事業

予算額 581万円

1 目的

- 全ての市民（市内在勤・在学含む）のスポーツ活動を奨励し、「一市民一スポーツ」を合言葉に、スポーツによる市民の健康づくりの推進と地域の活性化に寄与することを目的とする総合型スポーツクラブ(名称：しぶかわスポーツクラブ)の設立を支援します。

しぶかわスポーツクラブでは、市民の健康づくりを推進するため、多種多様なスポーツ教室等を実施します。市民が教室への参加をきっかけに継続してスポーツ活動を行うことにより、医療費削減、健康寿命延伸への効果が期待できます。

2 事業概要（現状の問題点や事業の全体像）

- 本市では、市域全体を対象として、種目を限定しない多種多様なスポーツ種目等を対象とした教室を実施するなど、独自のクラブ設立を目指しています。

主な特徴は次のとおりです。

(1) 対象者は市全域の全市民

市全域を対象とすることにより、全ての市民に平等にスポーツ機会を提供します。

(2) 多チャンネル型

種目を限定しない多種多様なスポーツ種目等を対象としたスポーツ教室を実施します。また、企業や自治会などの団体の要望に応じて、スポーツ指導者を派遣します。

(3) 少子高齢化に対応した教室等の開催

中学校区を越えた運動部活動をクラブが支援し、子どものスポーツ機会の充実を図ります。また、高齢者を対象として介護予防を含めた軽スポーツ教室等を実施し、高齢者の健康づくりを推進します。

3 平成29年度で実施する内容

- 平成29年4月9日（日）に、多種目のスポーツ体験教室を実施するプレ事業を開催し、クラブ設立のPRと会員募集を行います。
- 平成29年5月を目途に、しぶかわスポーツクラブを設立する予定です。
- スポーツをしていない人や初心者を対象としたスポーツ教室を通年で開催します。また、要望に応じたスポーツ指導者の派遣等、多種多様なスポーツ教室やイベントを実施します。
- クラブの運営が円滑に進むよう、事務局職員の人件費を市が負担し、クラブ設立時の初期投資を含めた運営費に対して助成します。

担当課	企画部スポーツ課 (内線) 2417
-----	-----------------------

■ (仮称) 渋川伊香保温泉トレイルラン大会実施事業

予算額 556万円

1 目的

- 総合公園を拠点に、伊香保温泉石段街の一部や県立伊香保森林公園等の観光名所を走る特徴のあるコースを設けたトレイルラン大会を実施して、県内外からの参加や誘客による交流人口を拡大し、地域の活性化を図ります。

2 事業概要（現状の問題点や事業の全体像）

- 本大会は、総合公園をスタート・フィニッシュ地点とし、伊香保温泉石段街の一部を経由し、伊香保温泉誕生のきっかけとなった二ツ岳を有する県立伊香保森林公園を主な舞台としたコースで開催します。大会コースの一部は、平成28年度に拡充整備された総合公園クロスカントリーコースを使用します。

大会コースには7か所の給水所と関門を設け、救護体制と併せて選手が安全に安心して走れるよう配慮します。

種目は、ロングコース（20キロメートル）、ミドルコース（13キロメートル）及びクロスカントリー（5キロメートル）の3種目です。

クロスカントリーでは、中学生や高校生の部門を設けるとともに、それぞれの種目で年代別の部門を設けて、幅広い年代層の参加を見込みます。

なお、トレイルランとは、不整地の道路や山を駆け抜ける中・長距離レースで、登山道を任意にコース設定できることから、山間地における地域振興事業として開催されている事例が多く、若者を中心に競技人口が拡大しています。

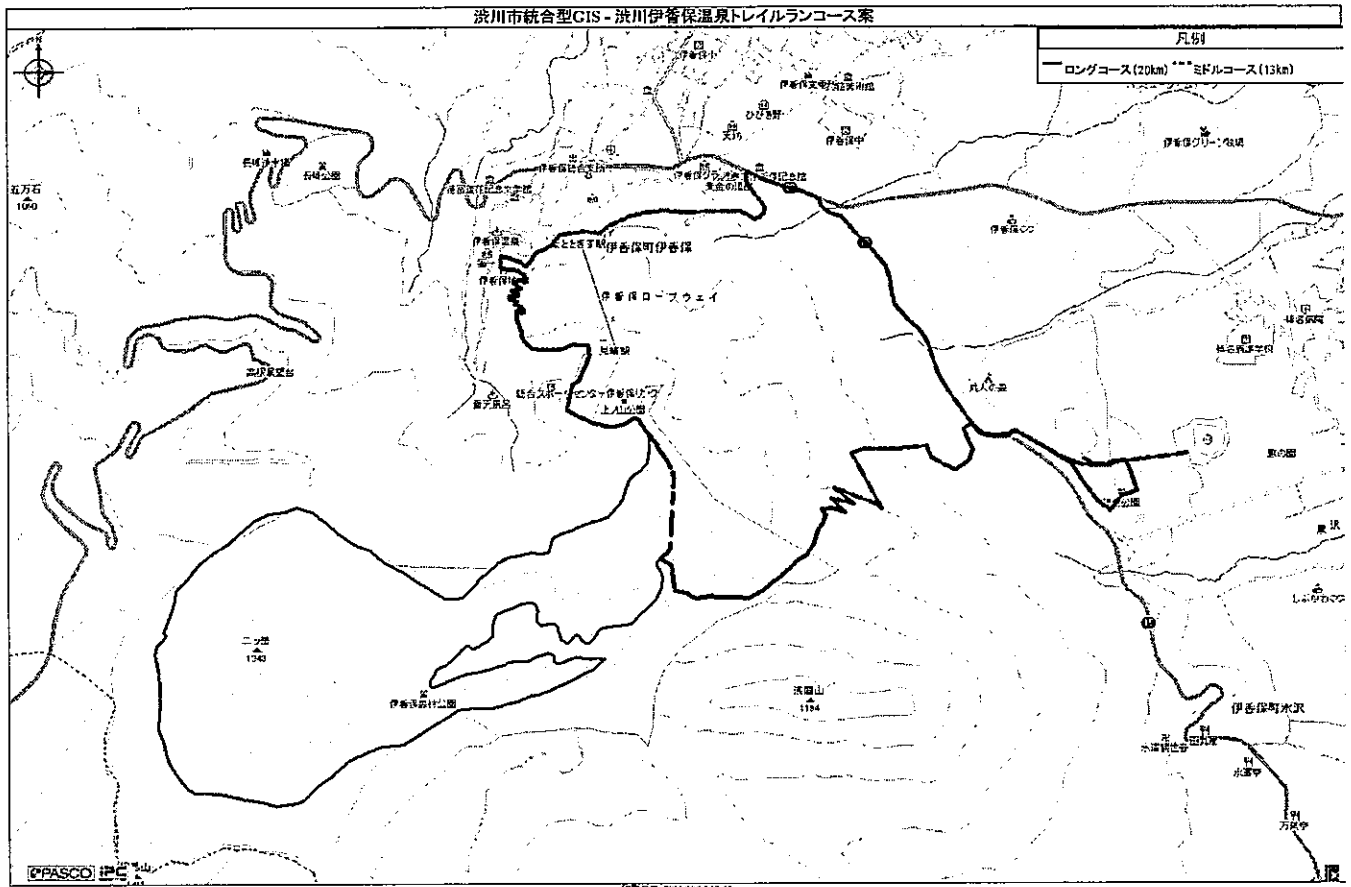
また、本大会は、平成29年度以降、毎年継続して実施します。

3 平成29年度で実施する内容

- この事業は、大会主催者である（仮称）渋川伊香保温泉トレイルラン実行委員会に対して、補助金を交付するものです。

- 大会名称 (仮称) 渋川伊香保温泉トレイルラン2017
- 主催 (仮称) 渋川伊香保温泉トレイルラン実行委員会
- 大会日時 平成29年10月22日(日) 雨天決行
競技 午前8時30分～午後1時30分
- 会場 渋川市総合公園・県立伊香保森林公園
- 競技種目
参加者数
ロングコース(20km) 550人(6部門)
ミドルコース(13km) 350人(6部門)
クロスカントリー(5km) 200人(6部門)
参加者合計 1,100人
- コース 次ページ参照

担当課	企画部 スポーツ課 (内線) 2417
-----	------------------------

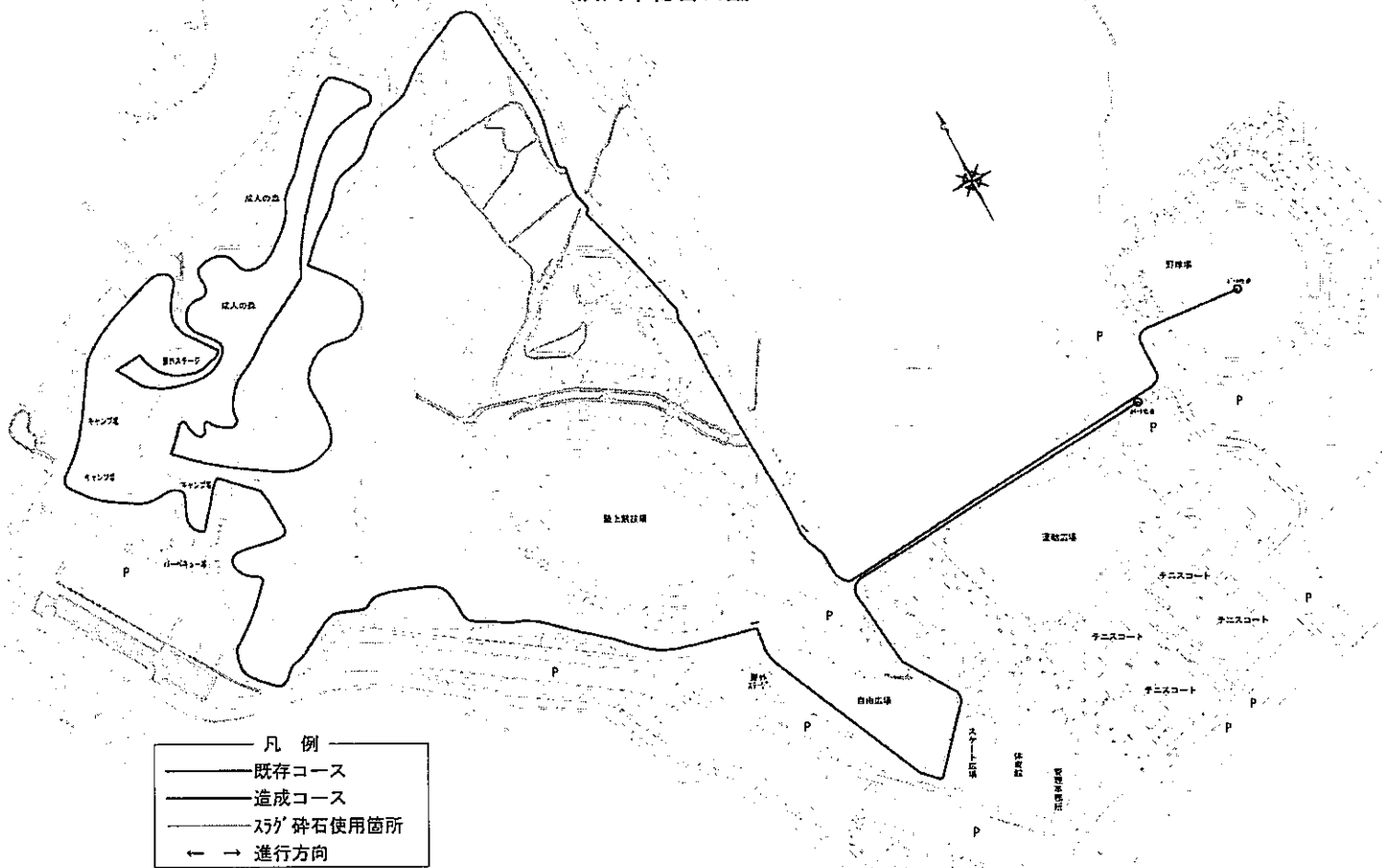


印刷日時: 2018/10/24 13:52
渋川市企画部スポーツ課管理課

<https://wagmap.nasco.asp.lgwan.jp/shibukawa-egis/print/print.asp>

2016/10/04

渋川市総合公園 5kmコース



渋川市総合公園加スカントリーコース計画図【平成29年度】